

# 食物の嗜好に関する研究（第2報）

－経時変動による嗜好動向の検討－

中 村 喜 代 美  
新 沢 祥 恵

## 目 次

1. は じ め に
2. 研 究 方 法
3. 結 果 と 考 察
  - 3-1. 平均嗜好度の動向
    - 3-1-1. 和風料理の動向
    - 3-1-2. 洋風料理の動向
    - 3-1-3. 中華風料理の動向
    - 3-1-4. 平均嗜好度による嗜好動向の検討
  - 3-2. 年代別の嗜好動向
    - 3-2-1. 和風料理の年代別嗜好動向
    - 3-2-2. 洋風料理の年代別嗜好動向
    - 3-2-3. 中華風料理の年代別嗜好動向
    - 3-2-4. 年代別嗜好動向の検討
4. ま と め
- 参 考 文 献

## 1. は じ め に

人間の生活様式の中で食習慣は比較的保守的であると言われているが<sup>(1)</sup>、近来、我国では経済の高度成長と合わせて社会生活も高度化・複雑化し、生活環境も急速に変化をとげた中で食生活においても変容することを余儀なくされてきた<sup>(2)</sup>。

食物摂取パターンの変遷をみると、昭和40年頃主食中心型から副食品多食型へ急速に移行し、さらに、昭和40～50年代にかけて近代化・洋風化傾向が強まってきたが、一方では「日本型食生活」の考え方も出されて来た<sup>(3)</sup>。

また、国民栄養調査によれば近年は昭和30～40年代のような変化はみられないものの、動物性たん白質や脂質が増加しており、食品摂取状況においても昭和50年頃より、緑黄色野菜・乳・乳製品、油脂類、肉類等が増加傾向を示すのに対し、その他の野菜、菓子類、果実類、米類等は減少傾向にあることが報告されている<sup>(4)</sup>。

これら食物摂取の変化と合わせてファミリーレストランやファーストフードなどの外食産業の成長やテイクアウト食品の増大など<sup>(5)</sup>、喫食形式や調理形式にも多様化がみられ、食環境も大きく変わっており、このような変化の中でさらに新たな食生活様式がつくられつつあるといえよう。

我々は食生活を形成する要因の1つである食物の嗜好についての研究を行っており、前報<sup>(6)</sup>では、現代の嗜好傾向を把握するため、年齢階層別と性別による検討を行なったが、さらに食物嗜好の動向を探るため、本報では1977年に実施した食物の嗜好調査成績<sup>(7)</sup>との比較・検討を行なった。

## 2. 研 究 方 法

調査時期、調査対象、集計方法は既報<sup>(6)(7)</sup>のとおりであるが、1977年の調査では本学院中学生、本学学生を中心にその父母の世代（30～39歳、40～59歳）、60歳以上と1部年齢階層のみを対象としているため、1991年の調査についてもそれに合わせて集計を行なった。尚、中学生女子については新たに35名の調査を行ない1991年の調査対象に加えた。今回の集計における対象数は表1のとおりである。

また、調査品目は1977年と1991年の調査における共通の料理及び食品151品目である。

表1 調査対象 (人)

	1977年	1991年
中学生女子	50	59
短大生女子	50	93
30～39歳女子	50	50
40～59歳女子	50	132
60歳以上女子	50	54
30～39歳男子	50	38
40～59歳男子	50	126
60歳以上男子	50	39

## 3. 結 果 と 考 慮

### 3-1. 平均嗜好度の動向

前述のように本報では1997年の調査に準じ、中学生女子、短大生女子、30～39歳女子、40～59歳女子、60歳以上女子、30～39歳男子、40～59歳男子、60歳以上男子の8つの階級のみを取り上げており、男子の若年層がないため問題はあろうが、全体としての動向を把握するため、各料理のそれぞれの階級における嗜好度について8つの階級のものを平均し、それぞれの料理における平均嗜好度とし、1977年と1991年の比較を行なったものが表2である。尚、検討にあたっては調査品目を和風と思われるもの（79品目）、洋風と思われるもの（50品目）、中華風と思われるもの（16品目）、その他（6品目）に分類したが、これは1977年における分類に従った。

### 3-1-1. 和風料理の動向

和風と思われる料理及び食品79品目の平均嗜好度の平均値は1977年が3.69、1991年も3.69とほぼ同じであり、このうち、嗜好度の上昇したものは42品目、低下しているものは39品目と全体としては変化はみられないようである。

和風料理のうち、米飯料理については従来嗜好度の低かったものは上昇し、嗜好度の高いものは低下しており、料理間の嗜好差は少なくなる傾向がみられた。また、麺類・汁物は殆ど上昇しており、特に麺類については近年食事の軽食化傾向がみられることから嗜好度を上げてい

表2-1 平均嗜好度の差（和風）

料 理 名	1977年	1991年	嗜好差 ( '91-'77)
ご は ん	4.07	4.15	0.08
赤 飯	3.91	3.84	-0.07
五 目 飯	4.01	3.98	-0.03
筍 飯	4.03	3.95	-0.08
松 茸 飯	4.28	4.17	-0.11
親子どんぶり	3.68	3.80	0.12
ちらしずし	3.98	3.95	-0.03
まきずし	3.92	3.97	0.05
いなりずし	3.80	3.86	0.06
にぎりずし	4.19	4.22	0.03
いなりうどん	3.85	3.95	0.10
肉うどん	3.66	3.68	0.02
卵うどん	3.78	3.78	0
そうめん	3.97	3.97	0
ざるそば	3.85	3.99	0.14
わかめの味噌汁	4.11	4.03	-0.08
しじみの味噌汁	3.85	3.88	0.03
いわしのつみいれ汁	3.34	3.50	0.16
めった汁	3.84	3.98	0.14
か す 汁	3.58	3.62	0.04
かき玉汁	3.49	3.66	0.17
さ し み	4.10	4.10	0
しめさば	3.13	3.09	-0.04
かにの二杯酢	4.09	3.89	-0.20
な ま す	3.62	3.50	-0.12
ぬ た	3.55	3.41	-0.14
わらびの酢の物	3.81	3.45	-0.36
ほうれん草のお浸し	3.98	3.90	-0.08
冷ややっこ	3.95	3.92	-0.03
納 豆	3.22	3.36	0.14
たくあん	3.79	3.70	-0.09
梅 干	3.62	3.67	0.05
らっきょう漬	3.28	3.13	-0.15
かぶらずし	3.55	3.38	-0.17
福 神 漬	3.39	3.48	0.09
かれいの煮付	3.65	3.77	0.12
鯖の煮付	3.36	3.53	0.17
いかの煮付	3.65	3.69	0.04
じゃが芋にしんの煮付	3.59	3.52	-0.07
ごりの佃煮	3.22	3.23	0.01
じ ぶ 煮	3.46	3.56	0.10
煮 豆	3.65	3.62	-0.03

料 理 名	1977年	1991年	嗜好差 ( '91-'77)
がんもの含煮	3.45	3.60	0.15
卵 と じ	3.81	3.73	-0.08
昆 布 巻	3.64	3.56	-0.08
ゆ で 卵	3.60	3.63	0.03
粉ふき芋	3.58	3.70	0.12
かぼちゃの煮付	3.61	3.68	0.07
ふきの煮付	3.71	3.61	-0.10
大根の煮付	3.66	3.78	0.12
筍の煮付	3.80	3.70	-0.10
蓮根の煮付	3.62	3.66	0.04
茄子のおらんだ煮	3.70	3.60	-0.10
ひじきの煮付	3.41	3.62	0.21
きんぴらごぼう	3.81	3.93	0.12
え び す	3.59	3.24	-0.35
寄 せ 鍋	3.92	4.01	0.09
お で ん	3.96	4.01	0.05
す き 焼	4.12	4.08	-0.04
茶碗蒸し	4.14	4.06	-0.08
卵 豆 腐	3.54	3.52	-0.02
小鯛のからむし	3.39	3.30	-0.09
ぶりの照焼	3.86	3.79	-0.07
あじの塩焼	3.80	3.78	-0.02
うなぎのかば焼	3.73	3.66	-0.07
どじょうのかば焼	3.42	3.13	-0.29
卵 焼	3.79	3.90	0.11
野菜のかき揚げ	3.69	3.76	0.07
魚の天ぷら	3.53	3.63	0.10
鯨の立田揚げ	2.99	3.12	0.13
南 蛮 漬	3.02	3.22	0.20
かきやま	3.73	3.81	0.08
せんべい	3.63	3.75	0.12
まんじゅう	3.48	3.58	0.10
甘 納 豆	3.43	3.20	-0.23
羊 か ん	3.46	3.34	-0.12
ぜんざい	3.78	3.63	-0.15
日 本 茶	4.14	4.08	-0.06
日 本 酒	3.12	3.00	-0.12
平 均	3.69	3.69	0
最 大	4.28	4.22	-0.06
最 小	2.99	3.00	0.01
レ ン ジ	1.30	1.21	-0.09
標準偏差の平均	0.88	0.81	-0.07

## 中 村・新 沢

表2-2 平均嗜好度の差(洋風)

料 理 名	1977年	1991年	嗜好差 ( '91-'77)
カレーライス	3.63	3.90	0.27
トースト	3.67	3.74	0.07
サンドイッチ	3.78	3.86	0.08
ホットドッグ	3.37	3.46	0.09
ピザパイ	3.17	3.54	0.37
スパゲッティ	3.54	3.77	0.23
コンソメスープ	3.25	3.49	0.24
ポタージュスープ	3.50	3.73	0.23
チー ズ	3.26	3.40	0.14
ハ ム	3.59	3.66	0.07
マカロニサラダ	3.45	3.63	0.18
野菜サラダ	3.95	3.91	-0.04
シチュー	3.58	3.78	0.20
ロールキャベツ	3.52	3.65	0.13
い り 卵	3.64	3.68	0.04
目 玉 焼	3.69	3.75	0.06
オムレツ	3.85	3.78	-0.07
野菜炒め	3.73	3.85	0.12
ムニエル	3.28	3.43	0.15
ハンバーグ	3.57	3.72	0.15
ビフテキ	3.99	3.86	-0.13
ローストチキン	3.49	3.53	0.04
グラタン	3.42	3.62	0.20
とんかつ	3.77	3.79	0.02
海老フライ	4.22	4.07	-0.15
かきフライ	3.69	3.53	-0.16
芋コロッケ	3.43	3.80	0.37
クリームコロッケ	3.26	3.68	0.42
みかん缶詰	3.71	3.70	-0.01
マーマレード	3.02	3.10	0.08
苺ジャム	3.45	3.60	0.15
焼りんご	2.95	2.89	-0.06
カステラ	3.85	3.82	-0.03
ショートケーキ	3.78	3.90	0.12
ホットケーキ	3.61	3.76	0.15
シュークリーム	3.85	3.96	0.11
ビスケット	3.45	3.49	0.04
チョコレート	3.54	3.70	0.16
ミルクゼリー	2.94	3.35	0.41
アイスクリーム	3.95	4.07	0.12
プ リ ン	3.66	3.82	0.16
ヨーグルト	3.03	3.47	0.44
紅 茶	3.66	3.69	0.03
コーヒー	3.68	3.65	-0.03
コ コ ア	3.43	3.52	0.09
オレンジジュース	3.84	3.76	-0.08
サイダー	3.62	3.51	-0.11
コーラー	3.16	3.05	-0.11
牛 乳	3.50	3.55	0.05
ビ ー ル	3.19	3.33	0.14
平 均	3.54	3.65	0.11
最 大	4.22	4.07	-0.15
最 小	2.94	2.89	-0.05
レ ン ジ	1.28	1.19	-0.09
標準偏差の平均	0.91	0.81	-0.10

表2-3 平均嗜好度の差(中華風)

料 理 名	1977年	1991年	嗜好差 ( '91-'77)
チャーハン	3.61	3.85	0.24
焼 そ ば	3.76	3.96	0.20
ラーメン	3.64	4.01	0.37
インスタントラーメン	3.09	3.40	0.31
冷ばん三条	3.18	3.24	0.06
ザーサイ	2.88	3.07	0.19
ぎょうざ	3.46	3.78	0.32
しゅうまい	3.33	3.50	0.17
八 宝 菜	3.52	3.70	0.18
酢 豚	3.46	3.60	0.14
麻婆豆腐	3.22	3.53	0.31
焼 豚	3.61	3.62	0.01
鶏の空揚げ	3.72	3.85	0.13
魚の空揚げ酢あんかけ	3.23	3.39	0.16
あんまん	3.31	3.43	0.12
肉 ま ん	3.25	3.54	0.29
平 均	3.39	3.59	0.20
最 大	3.76	4.01	0.25
最 小	2.88	3.07	0.19
レ ン ジ	0.88	0.94	0.06
標準偏差の平均	0.92	0.82	-0.10

表2-4 平均嗜好度の差(その他)

料 理 名	1977年	1991年	嗜好差 ( '91-'77)
り ん ご	3.91	3.98	0.07
ぶ ど う	4.00	4.02	0.02
い ち ご	4.28	4.17	-0.11
バ ナ ナ	3.79	3.85	0.06
み か ん	4.13	4.11	-0.02
大学ポテト	3.64	3.75	0.11
平 均	3.96	3.98	0.02
最 大	4.28	4.17	-0.11
最 小	3.64	3.75	0.11
レ ン ジ	0.64	0.42	-0.22
標準偏差の平均	0.76	0.67	-0.09

るものと思われる。この調査で殆どの料理に嗜好度の低下がみられるものとして和え物・酢の物料理があげられ、特に「わらびの酢の物」は0.36の減少と今回の全調査品目の中で最も大きな低下を示していた。この他、蒸し物料理や焼き物料理も殆どが低下しているのに対し、揚げ物料理については元来低いものもあるもののすべて嗜好度の上昇がみられ、国民栄養調査成績において、脂質あるいは油脂類の摂取量が依然増加していることから、調理法によっては和風料理であっても好まれる傾向もみられるようである。

一方、調査品目の中には「ぬた」「かぶらずし」「ごりの佃煮」「じぶ煮」「茄子のおらんだ煮」「えびす」「小鯛のからむし」「どしょうのかば焼」など当地の郷土料理と言われるものもあるが、これらは殆ど嗜好度の低下がみられ、昔から伝えられて来た料理が次第に日常の食生活の中では少なくなっていくのではないかとと思われる。

次に嗜好度のバラツキについて検討した。この嗜好度のバラツキを表わすものとして、標準偏差がある。すなわち、標準偏差の大きいものは好き嫌いの差が激しいと考えられる。そこで各料理の各階級における標準偏差を平均したところ、1977年は0.88に対し、1991年は0.81と小さくなっている。一方、嗜好度の最大値と最小値の差－レンジーについても1977年は1.30に対し1991年は1.21と小さくなっており、これらのデータより各料理における嗜好度の差は若干小さくなっており、山口等の報告<sup>(8)</sup>に似た傾向を示していた。

### 3-1-2. 洋風料理の動向

洋風と思われる料理及び食品50品目の平均嗜好度の平均値は1977年は3.54に対し、1991年は3.65と上昇しており（ $p<0.01$ ）、このうち嗜好度の上昇しているものは38品目と多くのものが好まれるようになっていた。

洋風料理の惣菜類のうち嗜好度の低下しているものは「野菜サラダ」「オムレツ」「ビフテキ」「海老フライ」「かきフライ」など早くから日本人の食生活に浸透し、1977年の調査で嗜好度の高いものが多いことから、従来は洋食としてご馳走的な料理であったものが、食生活の洋風化が進んだ中で日常的な料理となりつつあるのではないだろうか。これに対し、「コンソメスープ」「ポタージュスープ」「ロールキャベツ」「ムニエル」「ローストチキン」「グラタン」「クリームコロッケ」などは日常の食生活へ次第に浸透しつつあり、このことが嗜好度の上昇につながっているのではないかとと思われる。

今回の調査で最も嗜好度の上昇が大きいのは「ヨーグルト」の0.44であるが、この他「ポタージュスープ」「シチュー」「グラタン」「クリームコロッケ」「ミルクゼリー」「アイスクリーム」「プリン」など牛乳を使った料理はどれも嗜好度が大きく上昇しており、牛乳は飲物として使われるだけでなく、こういった牛乳料理も好まれるようになったことが、牛乳・乳製品の摂取増<sup>(4)</sup>にもつながっているのではないかと考えられる。

また、菓子類をみると先の和風のもののの中で「甘納豆」「羊かん」「ぜんざい」の甘味の強い和菓子がどれも嗜好度を下げているのに比べ、洋菓子類は1部を除き殆ど嗜好度が上がっていた。さらに飲物類の「日本茶」や「日本酒」の嗜好度が低下しているのに対し「紅茶」「ココ

ア」「ビール」は上昇しており、これらの食物にも洋風化傾向が現れていた。

次に洋風料理についても各料理における嗜好のバラツキを検討したところ、標準偏差では1977年が平均0.91、1991年が0.81となっており、レンジについても1977年が1.28に対して1991年は1.19となり、和風料理と同様に嗜好のバラツキの小さくなる傾向がみられた。

### 3-1-3. 中華風料理の動向

中華風と思われる料理及び食品の平均嗜好度の平均値は1977年が3.39に対し、1991年は3.59となり ( $P<0.01$ )、全品目の嗜好度が上昇し、洋風のものに比べ、さらに大きな上昇傾向がみられた。これは従来我々の食生活の中では、中華風料理は和風・洋風に比べ日常的に最も馴染みの少なかったものであるのが、近年急速に取り入れられているからと考えられる。特に嗜好度の上昇の大きいものは「ラーメン」「ぎょうざ」「チャーハン」「焼そば」など日常的に食することの多いと思われる料理が主であるが、「麻婆豆腐」も嗜好度の上昇が大きく、最近、合成調味料の普及により各家庭の惣菜に取り入れられていると考えられる。

中華風料理のバラツキでは1977年の標準偏差が平均0.92、1991年が0.82であり、他のものと同様嗜好のバラツキは小さくなる傾向であったが、レンジについては嗜好度の最大値が高くなったこともあり、1977年に0.88に対して1991年は0.94と若干大きくなっていた。

### 3-1-4. 平均嗜好度による嗜好動向の検討

以上、平均嗜好度により全般的な嗜好動向の検討を行ってきたものであるが、和風のものでは全体として殆ど同じ嗜好のレベルであるのに対し、洋風のものと中華風のものでは嗜好が高くなる傾向にあり、特に中華風のものとそれが顕著であった。

食生活の洋風化傾向については1977年の調査時においても既に取り上げられていたが、それでも調査品目全体としてみると最も嗜好傾向の高いものは和風のもの（平均3.69）であり洋風のもの（3.54）や中華風のもの（3.39）は1部を除き嗜好傾向が低くなっており、実際の個々の食生活においては依然和風指向が強いと考えていた。しかし、14年を経過した1991年では洋風のもの、中華風のものの嗜好の上昇が著しく、和風のもの（平均3.69）、洋風のもの（平均3.65）、中華風のもの（平均3.59）と和風のものの嗜好が若干高いものの、相互の嗜好差はかなり小さくなっていた。

尚、「丼物」「うどん・そば類」「カレーライス」「サンドイッチ」「スパゲッティ」「チャーハン」「焼そば」「ラーメン」など外食の中で軽食として利用されるものがどれも嗜好度を上げており、今日の外食傾向や軽食化傾向の一端を現わしているようであった。

## 3-2. 年代別の嗜好動向

表3は年齢階層別に各料理及び食品について1977年と1991年の嗜好度の差（1991年の嗜好度－1977年の嗜好度）を求めたものである。

### 3-2-1. 和風料理の年代別の嗜好動向

和風のものの嗜好動向について、若年層では若干上昇傾向がみられた。中学生では有意差のみられたものは「ざるそば」など8品目であるが、これらは「えびす」を除いては嗜好度の上

食物の嗜好に関する研究 (第2報)

表3-1 1977年と1991年の嗜好度の差 (和風) ※嗜好差: '91-'77

\*\* P<0.01 \* P<0.05

料理名	中学生 女子	短大生 女子	30~39歳 女子	40~59歳 女子	60歳以上 女子	30~39歳 男子	40~59歳 男子	60歳以上 男子
	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差
ごはん	0.22	0.39**	-0.20	0.04	0.05	-0.15	0.06	0.29*
赤飯	0.39	-0.23	-0.18	-0.15	0.15	-0.09	-0.27	-0.16
五目飯	0.03	-0.08	0.10	-0.18	-0.14	0.17	-0.15	0.03
筍飯	0.08	-0.06	-0.10	-0.12	-0.10	-0.04	-0.35**	0.07
松茸飯	0.12	-0.04	-0.32*	-0.27**	-0.22*	-0.14	-0.04	0.01
親子どんぶり	0.08	0.46*	0.10	-0.20	0.12	0.06	0.05	0.25
ちらしずし	-0.17	-0.19	0.02	-0.11	0.01	0.22	-0.14	0.14
まきずし	0.23	-0.23	-0.02	-0.11	-0.03	0.33	-0.07	0.34*
いなりずし	-0.16	-0.03	-0.10	-0.10	0.08	0.23	0.03	0.50*
にぎりずし	-0.19	0.16	0.32*	-0.01	-0.16	0.03	-0.02	0.12
いなりうどん	-0.07	-0.16	0.02	-0.05	0.33*	0.11	0.14	0.49**
肉うどん	0.14	0.23	0.10	-0.06	-0.24	-0.22	0.03	0.21
卵うどん	-0.10	-0.05	-0.18	-0.23*	0.02	0.26	0.01	0.28
そうめん	0.15	-0.06	0.00	-0.10	-0.02	-0.05	0.10	0.03
ざるそば	0.64**	-0.09	0.14	0.07	0.11	0.17	0.07	0.02
わかめの味噌汁	0.19	-0.22	-0.28	-0.11	-0.10	-0.09	-0.05	0.05
しじみの味噌汁	0.12	-0.02	-0.14	0.06	-0.07	-0.11	0.15	0.28
いわしのつみいれ汁	0.57*	0.41*	0.38	0.17	-0.21	-0.48*	0.15	0.31
めった汁	0.47*	0.39**	0.16	-0.02	0.19	-0.10	-0.14	0.18
かす汁	0.06	0.18	0.18	0.00	0.26	-0.31	-0.16	0.13
かき玉汁	0.36	0.23	0.02	-0.02	-0.10	0.25	0.23	0.43*
さしみ	0.14	0.00	0.08	-0.12	-0.53**	0.08	-0.05	0.44*
しめさば	-0.02	0.10	-0.34	-0.07	-0.28	-0.29	0.12	0.54**
かにの二杯酢	-0.13	-0.07	-0.26	-0.31**	-0.26	-0.37*	-0.24*	0.02
なます	-0.51	-0.12	-0.18	0.02	0.24	-0.23	-0.11	0.01
ぬた	-0.35	-0.16	0.02	-0.10	-0.19	-0.53*	-0.07	0.25
わらびの酢の物	-0.21	-0.69**	-0.34*	-0.53**	-0.07	-0.55*	-0.39	-0.07
ほうれん草のお浸し	0.08	0.07	-0.42**	0.09	-0.03	-0.28	0.01	-0.20
冷ややっこ	-0.47	-0.21	0.06	-0.03	-0.01	0.26	-0.04	0.18
納豆	0.09	0.06	0.46	0.39*	0.01	-0.26	-0.04	0.40
たくあん	-0.03	-0.09	-0.14	0.01	0.35*	-0.26	-0.39**	-0.11
梅干	0.70**	-0.23	-0.20	0.10	0.39*	-0.36*	-0.11	0.10
らっきょう漬	-0.14	-0.66**	-0.30	0.13	0.08	-0.55*	-0.05	0.25
かぶらずし	-0.15	-0.38	0.02	-0.07	-0.21	-0.43	-0.16	-0.03
福神漬	0.05	-0.02	-0.06	0.05	0.54**	-0.11	0.00	0.26
かれの煮付	0.19	0.26	0.10	0.16	0.29*	-0.41*	0.12	0.27
鯖の煮付	0.21	0.38*	-0.08	0.05	-0.02	-0.28	0.11	1.00**
いかの煮付	0.17	-0.05	0.08	-0.09	0.23	-0.16	-0.07	0.26
じゃが芋にしんの煮付	0.17	0.12	0.00	-0.17	-0.17	-0.51*	-0.25	0.28
ごりの佃煮	0.03	-0.11	0.24	0.01	0.00	-0.31	-0.05	0.26
じぶ煮	0.20	0.37*	0.22	0.19	-0.03	-0.40*	0.07	0.17
煮豆	0.23	-0.17	-0.02	-0.32*	0.17	0.02	-0.20	0.10
がんもの含煮	0.23	0.13	0.20	0.14	0.09	0.01	0.12	0.26
卵とじ	-0.15	-0.17	-0.14	-0.30**	-0.09	0.02	0.16	0.10
昆布巻	-0.29	-0.03	-0.08	0.16	0.02	-0.27	-0.03	-0.13
ゆで卵	0.23	-0.09	-0.10	-0.20	0.27	-0.09	0.09	0.15
粉ふき芋	0.51*	0.11	0.04	-0.12	0.03	0.11	-0.02	0.31
かぼちゃの煮付	-0.01	0.36**	-0.02	-0.23*	0.29*	-0.06	0.27*	-0.05
ふきの煮付	-0.49	0.23	-0.16	0.13	-0.10	-0.50*	-0.19	0.24
大根の煮付	0.47	0.27	-0.02	0.13	0.41*	-0.25	-0.19	0.11
筍の煮付	-0.10	-0.02	-0.04	0.05	-0.09	-0.31	-0.33**	0.07
蓮根の煮付	0.32	0.34*	-0.06	-0.04	-0.01	-0.14	-0.08	-0.06
茄子のおらんだ煮	-0.23	0.11	-0.06	0.02	-0.20	-0.35	-0.13	0.04
ひじきの煮付	0.75**	0.40*	-0.34*	0.25*	0.21	-0.41*	0.15	0.65**
きんぴらごぼう	0.18	0.50**	0.06	0.12	0.17	-0.13	-0.13	0.25

## 中 村・新 沢

料 理 名	中学生 女 子	短大生 女 子	30～39歳 女 子	40～59歳 女 子	60歳以上 女 子	30～39歳 男 子	40～59歳 男 子	60歳以上 男 子
	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差
え び す	-0.93**	-1.06**	-0.42*	-0.53**	-0.07	0.01	0.17	0.04*
寄 せ 鍋	0.38	-0.18	0.00	-0.04	-0.02	-0.15	0.14	0.20
お で ん	-0.15	0.08	-0.08	0.00	0.08	0.23	-0.16	0.40**
す き 焼	0.24	0.01	-0.16	-0.22	-0.03	-0.02	-0.23	0.08
茶碗蒸し	-0.05	-0.06	-0.24*	-0.15	-0.03	-0.19	0.00	0.09
卵 豆 腐	-0.06	0.05	-0.20	-0.01	0.03	-0.20	0.00	0.21
小鯛のからむし	0.11	0.28*	-0.12	-0.43**	-0.33*	-0.31	-0.15	0.25
ぶりの照焼	0.11	0.12	-0.42**	-0.06	-0.04	-0.20	-0.26*	0.14
あじの塩焼	-0.01	-0.01	-0.14	-0.16	-0.11	-0.12	0.04	0.33
うなぎのかば焼	0.38	0.03	0.26	-0.01	-0.26	-0.37	-0.51**	-0.03
どじょうのかば焼	-0.41	-0.26	0.00	-0.18	-0.11*	-0.61*	-0.47**	-0.26
卵 焼	0.42*	0.12	-0.20	-0.17	-0.02	0.18	0.22	0.34
野菜のかき揚げ	0.15	-0.05	-0.02	-0.16	0.07	0.18	0.26*	0.12
魚の天ぷら	0.18	-0.12	-0.14	-0.05	0.03	0.14	0.24	0.55**
鯨の立田揚げ	0.12	-0.01	0.20	-0.08	0.20	0.01	0.06	0.55**
南 蛮 漬	-0.13	0.19	0.50*	0.21	0.26	-0.11	-0.05	0.67**
かきやま	-0.19	-0.10	0.30	-0.14	0.30	0.49**	0.01	-0.03
せんべい	0.10	0.10	0.08	-0.11	0.26	0.50**	0.11	-0.07
まんじゅう	0.22	0.33	-0.02	0.01	0.30*	-0.40	-0.01	0.38*
甘 納 豆	-0.45	-0.34	-0.32	-0.27*	-0.12	-0.61**	-0.05	0.35
羊 か ん	-0.18	0.00	-0.46*	-0.16	0.04	-0.54*	-0.11	0.46*
ぜんざい	0.06	-0.09	-0.28	-0.42**	-0.15	-0.36	-0.09	0.10
日 本 茶	0.09	-0.23	-0.30*	-0.12	-0.10	0.01	-0.09	0.24
日 本 酒	-0.08	-0.33	0.40	-0.34	0.07	-0.43	-0.44*	0.19
平 均	0.060	0.005	-0.045	-0.071*	0.021	-0.141**	-0.049*	0.198**

昇がみられた。短大生では有意差のみられたものは「ごはん」など14品目であるが、酢の物と「えびす」を除いては、中学生と同様嗜好度の上昇がみられた。

中年層においては男女とも全般的に嗜好度の低下がみられた。このうち30～39歳女子では有意差のみられたものが「松茸飯」など12品目であり、「にぎりずし」など3品目以外は低下していた。40～59歳女子では13品目のものに有意差がみられ「納豆」「ひじきの煮付」以外は嗜好度の低下がみられた。一方、30～39歳男子では「いわしのつみれ汁」など16品目に有意差がみられ、「かきやま」「せんべい」以外は嗜好度が低下していた。40～59歳の男子では「筍飯」など11品目で「かぼちゃの煮付け」以外は同様に低下していた。

次に高年層ではやや上昇傾向がみられ、女子では「松茸飯」など11品目に、男子では「ごはん」など15品目に有意差がみられた。

### 3-2-2. 洋風料理の年代別嗜好動向

洋風のもの嗜好動向をみると全般的に短大生と40～59歳女子以外は嗜好度の上昇がみられ、短大生と40～59歳女子についてもほぼ横ばい状態であるといえよう。

若年層では中学生で「コンソメスープ」など6品目に、短大生では「カレーライス」など14品目に有意差がみられ、中年層では、30～39歳女子で「カレーライス」など9品目に、40～59



食物の嗜好に関する研究 (第2報)

表3-2 1977年と1991年の嗜好度の差 (洋風)

※ 嗜好差: '91-'77

\*\* P<0.01

\* P<0.05

料理名	中学生 女子	短大生 女子	30~39歳 女子	40~59歳 女子	60歳以上 女子	30~39歳 男子	40~59歳 男子	60歳以上 男子
	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差
カレーライス	0.10	0.25*	0.32*	0.09	0.14	0.68**	0.53**	0.08
トースト	-0.05	-0.32**	0.02	0.25*	0.16	0.12	0.08	0.34
サンドイッチ	0.03	-0.18	0.10	0.01	-0.11	0.34*	-0.04	0.56**
ホットドッグ	-0.04	0.03	0.40*	-0.21	-0.14	0.65**	-0.08	0.13
ピザパイ	0.34	0.10	0.88**	0.30*	-0.06	1.06**	-0.02	0.41*
スパゲッティ	0.02	0.10	0.06	0.14	0.01	0.63**	0.29*	0.57**
コンソメスープ	0.45*	0.40**	0.16	-0.20	0.15	0.28	0.16	0.49**
ポタージュスープ	-0.14	0.41**	0.08	0.44**	0.17	0.23	0.11	0.54*
チーゾ	-0.04	0.12	0.56*	-0.02	0.31	0.09	-0.25	0.36
ハム	0.16	-0.03	-0.06	-0.32	0.02	0.30	0.12	0.45*
マカロニサラダ	-0.01	0.18	0.02	-0.10	0.15	0.28	0.31*	0.60**
野菜サラダ	-0.08	-0.33**	-0.10	-0.07	0.08	0.09	-0.15	0.32
シチュー	-0.08	0.12	0.02	0.09	0.41*	0.36	0.28*	0.39*
ロールキャベツ	0.55*	0.22	-0.16	0.14	-0.17	-0.15	0.05	0.57**
いり卵	0.28	-0.17	-0.16	-0.13	0.12	0.03	0.08	0.28
目玉焼	0.18	-0.13	0.06	-0.17	0.20	0.04	0.05	0.28
オムレツ	-0.07	-0.19	-0.24	-0.05	-0.25	0.09	0.10	0.12
野菜炒め	0.15	-0.20	-0.10	-0.02	0.22	0.45**	0.20	0.31
ムニエル	0.32	0.18	0.20	-0.02	0.18	0.14	-0.11	0.29
ハンバーグ	0.01	0.29*	-0.10	0.24	0.17	0.43*	0.04	0.13
ビフテキ	0.01	-0.07	-0.16	-0.42**	-0.13	-0.10	-0.26	0.11
ローストチキン	0.01	0.24	-0.06	-0.09	-0.02	0.06	-0.15	0.28
グラタン	-0.01	0.22	0.06	0.25	0.19	0.46*	0.10	0.37
とんかつ	0.12	-0.08	0.10	-0.22	0.12	0.06	0.22	0.33
海老フライ	-0.17	-0.30*	-0.12	-0.31**	-0.13	0.06	-0.34**	0.14
かきフライ	-0.39	-0.38	-0.08	-0.11	-0.52**	-0.21	0.10	0.30
芋コロッケ	0.49*	0.32*	0.30*	0.23	0.25	0.39*	0.30*	0.70**
クリームコロッケ	0.33	0.40**	0.28	0.29*	0.31	0.95**	0.30*	0.58**
みかん缶詰	0.51	0.30*	-0.10	-0.29*	-0.09	-0.07	-0.15	-0.16
マーマレード	0.50*	-0.35	-0.44*	-0.01	0.16	0.03	0.38**	0.43*
苺ジャム	0.11	-0.03	0.10	0.08	0.05	0.28	0.30*	0.36
焼りんご	0.23	-0.13	0.24	0.03	-0.21	-0.79**	0.00	0.15
カステラ	0.30	-0.14	-0.18	-0.31**	0.05	-0.08	0.04	0.06
ショートケーキ	0.23	-0.07	0.18	0.00	0.16	0.21	-0.01	0.27
ホットケーキ	0.42**	-0.13	-0.06	-0.15	0.40*	0.29	0.07	0.32
シュークリーム	0.13	-0.01	0.02	-0.22	0.18	0.25	0.07	0.40*
ビスケット	0.17	-0.25	-0.02	-0.18	0.21	0.14	0.17	0.08
チョコレート	0.13	0.02	0.40*	0.03	0.18	0.31	-0.15	0.35
ミルクゼリー	0.50	0.48*	0.30	0.33*	0.02	0.31	0.39**	0.91**
アイスクリーム	0.14	0.14	0.42	-0.10	0.02	0.31	-0.01	0.09
プリン	-0.01	-0.18	0.18	-0.13	0.34	0.38*	0.32*	0.45*
ヨーグルト	0.47*	0.68**	0.96**	0.16	0.20	0.54*	0.22	0.32
紅茶	0.01	-0.09	0.10	0.16	-0.18	-0.07	0.21	0.17
コーヒー	-0.26	-0.26	-0.80**	0.52**	0.14	0.27	0.02	0.10
ココア	0.26	-0.28	0.26	0.18	0.05	0.33	-0.26	0.18
オレンジジュース	-0.07	-0.35**	-0.12	-0.24*	0.06	0.21	-0.14	0.04
サイダー	-0.03	-0.21	-0.04	0.19	-0.30	0.02	-0.15	-0.34
コーラー	-0.05	-0.54**	0.32	0.05	-0.23	-0.12	-0.25	-0.06
牛乳	0.06	0.02	0.14	-0.14	0.17	-0.06	0.05	0.20
ビール	0.24	0.00	0.58*	-0.04	0.24	0.18	-0.05	-0.07
平均	0.130**	-0.004	0.094*	-0.001	0.069*	0.214**	0.053	0.286**

表3-3 嗜好度の差（中華風）

料 理 名	中学生 女 子	短大生 女 子	30～39歳 女 子	40～59歳 女 子	60歳以上 女 子	30～39歳 男 子	40～59歳 男 子	60歳以上 男 子
	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差
チャーハン	0.26	0.08	0.06	0.13		0.29*	0.40**	0.38
焼 そ ば	-0.25	0.06	0.04	0.10	0.45**	0.40*	0.07	0.70**
ラーメン	0.12	0.16	0.32*	0.33*	0.56**	0.48**	0.31**	0.68**
インスタントラーメン	0.32	0.29	0.34	0.31*	0.01	0.53*	0.18	0.53**
冷ぱん三糸	0.18	0.14	0.14	0.15	-0.12	-0.15	0.07	0.12
ザーサイ	0.35	0.19	0.10	-0.16	0.17	0.24	0.05	0.58**
ぎょうざ	0.22	0.14	-0.04	0.50**	0.13	0.51**	0.37**	0.72**
しゅうまい	0.03	0.09	0.00	0.13	-0.14	0.50*	0.21	0.51*
八 宝 菜	0.29	0.29*	0.00	-0.07	0.11	0.24	-0.01	0.56**
酢 豚	-0.27	0.53**	-0.06	0.06	0.07	0.43*	0.03	0.34
麻婆豆腐	0.51*	0.64**	0.06	0.19	-0.03	0.46*	0.18	0.48**
焼 豚	0.00	0.21	0.08	-0.30*	-0.12	0.02	-0.10	0.30
鶏の空揚げ	0.16	0.46**	0.22	-0.28*	0.24	0.15	-0.38*	0.43*
魚の空揚げ甘酢あんかけ	0.42	0.40*	0.04	-0.10	0.03	0.18	-0.02	0.30
あんまん	-0.05	0.26	0.18	0.02	-0.09	0.14	0.03	0.51**
肉 ま ん	0.59**	0.34*	0.24	0.02	-0.06	0.49*	0.02	0.75**
平 均	0.180**	0.268**	0.107**	0.064	0.094	0.307**	0.088	0.493**

表3-4 1977年と1991年の嗜好度の差（その他） ※ 嗜好差：'91-'77

\*\* P&lt;0.01 \* P&lt;0.05

料 理 名	中学生 女 子	短大生 女 子	30～39歳 女 子	40～59歳 女 子	60歳以上 女 子	30～39歳 男 子	40～59歳 男 子	60歳以上 男 子
	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差	嗜好差
り ん ご	0.29*	-0.22*	-0.06	0.01	0.35*	0.18	0.03	0.05
ぶ ど う	-0.05	-0.20	-0.18	-0.03	0.14	0.15	0.24*	0.07
い ち ご	-0.13	-0.34**	-0.02	-0.37**	0.09	0.03	-0.12	-0.02
バ ナ ナ	-0.15	0.21	0.10	-0.18	0.31*	0.11	0.02	0.05
み か ん	0.22	-0.28*	-0.22	-0.16	0.24	-0.03	-0.04	0.08
大学ポテト	0.02	0.17	0.08	-0.18	0.33	0.09	-0.11	0.48*
平 均	0.035	-0.110	-0.050	-0.152*	0.243**	0.088*	0.003	0.118

歳女子で「トースト」など11品目に有意差がみられ、30～39歳男子では「カレーライス」など12品目に、40～59歳男子では「カレーライス」など11品目に有意差がみられた。このうち、中学生から30～39歳の年代にかけて「ヨーグルト」が有意に嗜好度が高くなっており、従来嗜好度の低かったものが若い世代から徐々に好まれていくようであり、30～39歳の男女とも「ピザ」「ホットドッグ」の嗜好度が急激な上昇をみせており、これまで若い世代のみで好まれていたものが少し上の世代でも好まれるようになってきているようである。

老年層では女子に「シチュー」など3品目に、男子では「サンドイッチ」など15品目に有意差がみられたが、男子の嗜好度の上昇が大きくなっている。

尚、有意差のみられたものが和風のものに比べ若干多く、嗜好の変化が激しいことを伺わされていた。

### 3-2-3. 中華風料理の年代別嗜好動向

中華風のものの嗜好動向をみるとどの年代でも嗜好度の上昇がみられた。

このうち女子では中学生より30～39歳の世代で有意差のあった品目数は少ないものの、全般的に嗜好度の上昇が大きくなっており、男子でも30～39歳の世代で全般的な嗜好度の上昇がみられた。このことは従来嗜好の低い中華風のものが若い世代から好まれていきつつあることを示しているのではないだろうか。尚、60歳以上の世代では男子の嗜好度の上昇が著しく高くなっていた。

また、有意差のみられた品目数は和風のものの洋風のものに比べてさらに多くなっており、嗜好の変化が激しいことを伺わせていた。

### 3-2-4. 年代別嗜好動向の検討

以上、年代間の嗜好動向について検討を行ってきたが、中年層において和風のものの嗜好の低下と洋風のものの嗜好の上昇がみられ、中年層の特にその前半の年代で若年層に近づく傾向がみられた。

1977年に実施した調査において我々は若年層では洋風のものの嗜好が高く、中年層以降では和風のものの嗜好が高いことを知った。また、従来いくつかの嗜好調査<sup>(9)(10)(11)(12)</sup>の中で年代間の嗜好差の検討が行なわれ、同様の報告がなされてきた。さらに1991年に実施した調査についても前報において年代差の検討を行ないやはり同様の結果を得、若い世代では洋風のものが、中年層以降では和風のものが好まれる傾向は依然として続いており、大勢としては同じ傾向であることを確認した。

しかし、さらに経時変動について検討したところ、中年層で若干和風のものの嗜好度が低くなり、洋風のものの嗜好度が高くなる傾向があり、例えば「ホットドッグ」「ピザパイ」のように若年層にのみ嗜好度の高かったものの嗜好度が30～39歳の年代においても高くなるなど、中年層の嗜好の若年化傾向がみられ、このことは山口等の報告<sup>(8)</sup>とも合致していた。さらに中華風のものの嗜好が若い方の世代から高くなっており、食の多様化につながるものと思われる。

また、5%以下の危険率で有意差のみられたものが、和風のものは延100 (15.8%)、洋風のものでは延81 (20.3%)、中華風のものは延40 (31.3%)と和風のものは比較的安定しているのに対し、洋風・中華風のものの変化の激しいことが伺える。

尚、60歳以上の男子における嗜好度の上昇が特に大きく、高年層において食への積極性が大きくなっていることも考えられるが、60歳以上の女子では大きな変化はみられず、さらに検討が必要であろう。

また、若年層から中年層における女子で果物類の嗜好の低下がみられるが、このことと、国民栄養調査成績における果実類の摂取減との関連についても検討が必要になろう。

## 4. ま と め

食生活の洋風化が進んでいると言われる中で、食物嗜好の動向を探るため、1977年と1991年

中 村・新 沢

に実施した嗜好調査の比較検討を行なった。

(1) 平均嗜好度について比較検討したところ、和風の料理や食品では全体として殆ど変化はみられなかった。しかし、個々にみると、和え物・酢の物・焼き物・蒸し物料理は殆ど嗜好が低下しているのに対し、揚げ物料理は上昇しており、調理法による差がみられた。

(2) 同様に洋風のものでは全体としては嗜好が上昇しているが、洋風料理の中でも従来より嗜好度が高く、日常的なものは低下しており、従来あまり日常的でないような料理の嗜好度が高くなっていった。また、牛乳を使った料理の嗜好度の上昇が著しかった。

(3) 中華風のはすべて嗜好度が上昇しており、全体としても和風・洋風のものに比べて嗜好度の上昇が大きく、急速に我々の食生活の中に浸透しているようである。

(4) 「丼物」「麺類」「カレーライス」「サンドイッチ」など外食で利用されるものがどれも嗜好度を上げており、外食化傾向や軽食化傾向を象徴していた。

(5) それぞれの料理や食品における嗜好のバラツキすなわち好き嫌いの差については小さくなる傾向がみられた。

(6) 年代間の嗜好の動向について検討を行なったところ、中年層の特にその前半の世代(30～39歳)で和風のものの嗜好の低下と洋風のものの嗜好の上昇がみられ、中年層の嗜好が若年層の嗜好に近づく傾向がみられた。

(7) 1977年と1991年の嗜好度で有意差のみられたものは中華風のものが最も多く、次いで洋風のものであることから、和風のは比較的嗜好が安定しているのに対し、洋風・中華風のものの変化が大きくなっていった。

以上の結果より、今日、実際の食生活においては、脂質エネルギー比の増加や、肉類、乳・乳製品・油脂類摂取の増加などによる洋風化現象が進む中で食物の嗜好についても徐々にではあるが洋風のもの中華風のものの嗜好が上昇する傾向がみられ、洋風化が進んでいることが伺えた。もちろん、従来比較的嗜好の高い傾向にあった和風料理の嗜好が急激に低下することはないと思われるが、和風・洋風・中華風のものそれぞれの嗜好差が小さくなっており、このことがさらに食生活の多様化へもつながるのではないかと考えるものである。

参 考 文 献

- (1) 川端晶子：調理学．21，建帛社，1990.
- (2) 砂田登志子：新しいライフスタイルと食料・栄養・健康．1990年版食糧・栄養・健康，75-80，医歯薬出版，1990.
- (3) 川端晶子：食生活志向の動向．1991年版食糧・栄養・健康．17-24，医歯薬出版，1990.
- (4) 厚生省保健医療局健康増進栄養課：平成3年版国民栄養の現状．33-43．第一出版，1991.
- (5) 姫田 尚：食糧消費の変化と食生活．1990年版食料・栄養・健康．12-17，医歯薬出版，1990.
- (6) 新沢祥恵他：食物の嗜好に関する研究（第1報）．北陸学院短期大学紀要第23号，75-94，1991.
- (7) 石森慧子他：現代の食物の嗜好傾向についての一考察．北陸学院短期大学紀要9号，65-88，1977.
- (8) 山口和子他：食行動に関する研究．第37回日本栄養改善学会講演集，176-177，1990.
- (9) 加藤征江：食物の嗜好について．北陸学院短期大学紀要第8号，99-113，1976.

食物の嗜好に関する研究（第2報）

- (10) 味の素KK広報室：食の嗜好．食べる No. 13. 4, 1987.
- (11) 谷 洋子他：福井県における嗜好調査．仁愛女子短期大学紀要，25－40，1987.
- (12) NHK放送世論調査所：日本人の食生活．82－86，日本放送出版協会，1983.